

# 工事内容確認チェックシート(竣工)(耐震性) 2×4工法用

竣工現場検査時

現場検査申請書付表1-2-2

一戸建て等(一般用)  
フラット35S  
2×4工法用

## 工事内容確認チェックシート(竣工)(耐震性(免震建築物以外))

私は、竣工現場検査の申請にあたり、以下の基準について適合していることを確認しました。

申請物件は、住宅品質確保法第3条第1項の規定に基づく評価方法基準の第5の1-1に定める耐震等級の等級2に該当しています。

(※ フラット35S(優良な住宅基準(耐震性))は等級2又は3、フラット35S(特に優良な住宅基準(耐震性))は等級3の基準に適合する必要があります。)

基準の概要	確認項目	確認内容	現場確認欄	備考
評価方法基準の第5の1-1(特に優良な住宅基準)に定める耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)の等級2又は3に適合していること	土台、枠組	土台について、構造耐力上の欠点がないこと	<input checked="" type="checkbox"/>	
		土台の継手位置が構造耐力上支障ない位置に設けられていること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		枠組材は所定の品質であり、所定の間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		アンカーボルトは所定の品質、埋込み長さ、位置であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	耐力壁(面材の場合)	面材耐力壁は所定の位置、長さ、種類、厚さであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		釘は所定の種類、間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	耐力壁(筋かい併用の場合)	面材耐力壁は所定の位置、長さ、種類、厚さであること	<input type="checkbox"/>	
		筋かいは所定の方向、断面、留付であること	<input type="checkbox"/>	
	準耐力壁	準耐力壁は所定の位置、長さ、種類厚さであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		釘は所定の種類、間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	床組等	準耐力壁の直上・直下の根太の支持距離が所定の長さであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		床下張材は所定の種類、厚さであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		釘は所定の種類、間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	屋根面	天井根太の寸法、間隔、留付けが所定のとおりでであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		所定の勾配であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		面材が所定の種類、厚さ、留付け間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		釘は所定の種類、間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	接合金物	たる木の寸法、間隔、留付け状態が所定のとおりでであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		接合金物は所定の品質、種類であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		たて枠上下端が所定の留付けであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	基礎	基礎が所定の配置であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
所定の寸法の根入れ深さであること		<input checked="" type="checkbox"/>		
立上がり部分の高さ、厚さ、底盤が所定の寸法であること		<input checked="" type="checkbox"/>		
主筋・補強筋が所定の径、位置であること		<input checked="" type="checkbox"/>		
		開口部周辺等の補強が所定の方法であること	<input checked="" type="checkbox"/>	

注1) 申請者、工事監理者又は工事施工者は、太枠で囲われたところをチェック又は記入してください。  
注2) 「所定の」とあるのは、設計図書等に記載されている事項を意味しています。

20120401

工法別(在来木造用、2×4工法用、RC造等用)に応じた付表を選択してください。

免震建築物以外である場合に、本シートを使います。

どの等級を満たしているか必ず記入します。  
・【フラット35】S(特に優良な住宅基準)…「3」  
・【フラット35】S(優良な住宅基準)…「2」又は「3」

上下に横架材や枠材のない面材で構成される準耐力壁、垂れ壁・腰壁について、壁の長さ、配置、構成部材の種類、面材の高さ、垂れ壁・腰壁の開口幅や両隣の状況等を確認し、します。

該当する項目全てにする必要があります。

機構承認住宅(設計登録タイプ)の場合、本工事内容確認チェックシートの提出は不要